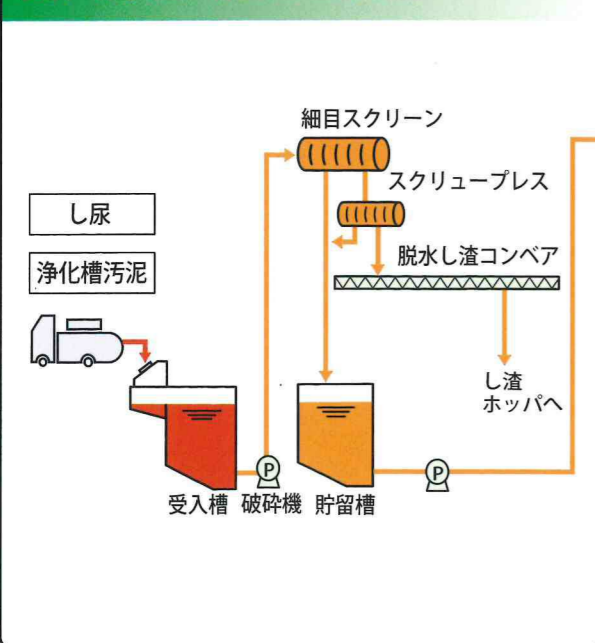
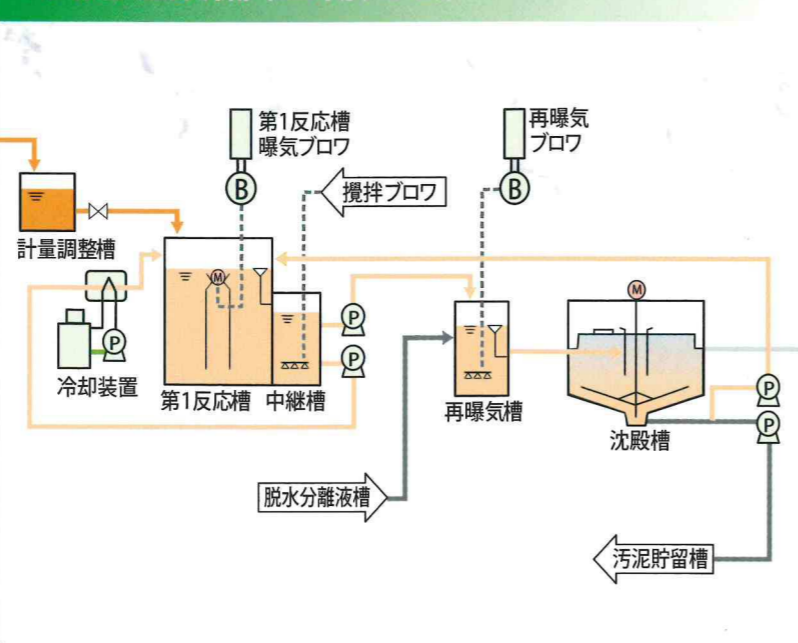


東部知多浄化センターフローシート

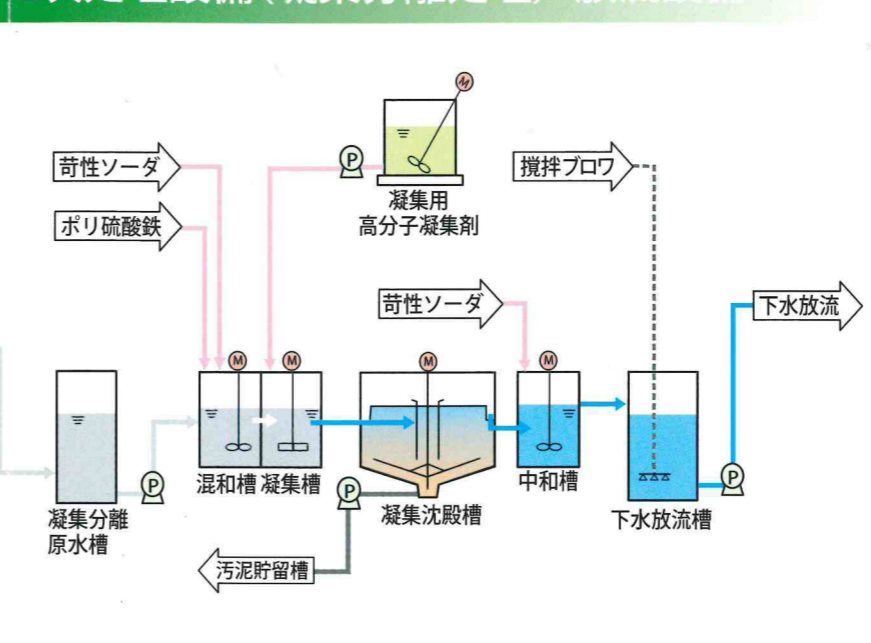
受入貯留・前処理設備



1次処理設備(生物処理)



2次処理設備(凝集分離処理)・放流設備



受入貯留・前処理設備

搬入されたし尿や浄化槽汚泥は受入槽に入れ、破碎機で混入している布等の異物を細かく裁断し、細目スクリーンへ移送します。移送されたし尿等は細目スクリーンでし渣を取り除いた後、貯留槽に溜め、第1反応槽に定量で投入します。し渣は、スクリュープレスで脱水し、東部知多クリーンセンターへ運び、焼却します。

1次処理(生物処理)設備

深さ約10mの第1反応槽内には、し尿等を分解する微生物が生息しており、ここで汚れの大部分が除去されます。その後、沈殿槽で流入液を上澄み液と沈殿汚泥に分離し、上澄み液は凝集分離原水槽へ、沈殿汚泥の一部は返送汚泥として第1反応槽へ、一部は余剰汚泥として汚泥貯留槽へ移送します。

2次処理(凝集分離処理)・放流設備

混和槽・凝集槽では、汚れ成分を更に除去するため薬品を加え、凝集沈殿槽に送ります。凝集沈殿槽の上澄み液は添加された薬品により酸性になっていますので、苛性ソーダにより中性にした後、下水道へ放流します。また、凝集沈殿槽の沈殿物は汚泥貯留槽へ送ります。

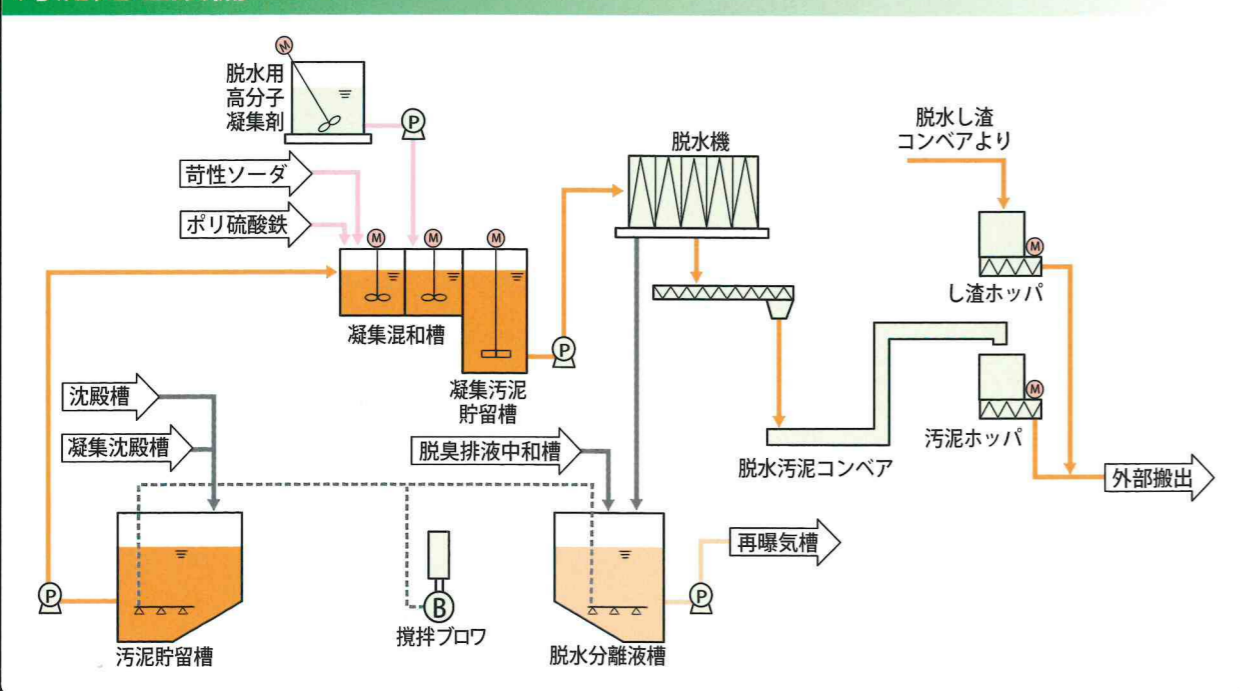
施設概要

施設名称	東部知多浄化センター	
所在地	愛知県知多郡東浦町大字森岡字三洲道41番地	
敷地面積	15,510㎡	
各階面積	処理棟	管理棟
地下1階	466㎡	—
1階	2,095㎡	455㎡
2階	1,196㎡	339㎡
合計	3,757㎡	794㎡
竣工	高負荷脱窒素処理方式 平成9年3月 下水道放流方式に変更 平成25年3月	
処理能力	200kℓ/日 (し尿:45kℓ/日 浄化槽汚泥:155kℓ/日)	

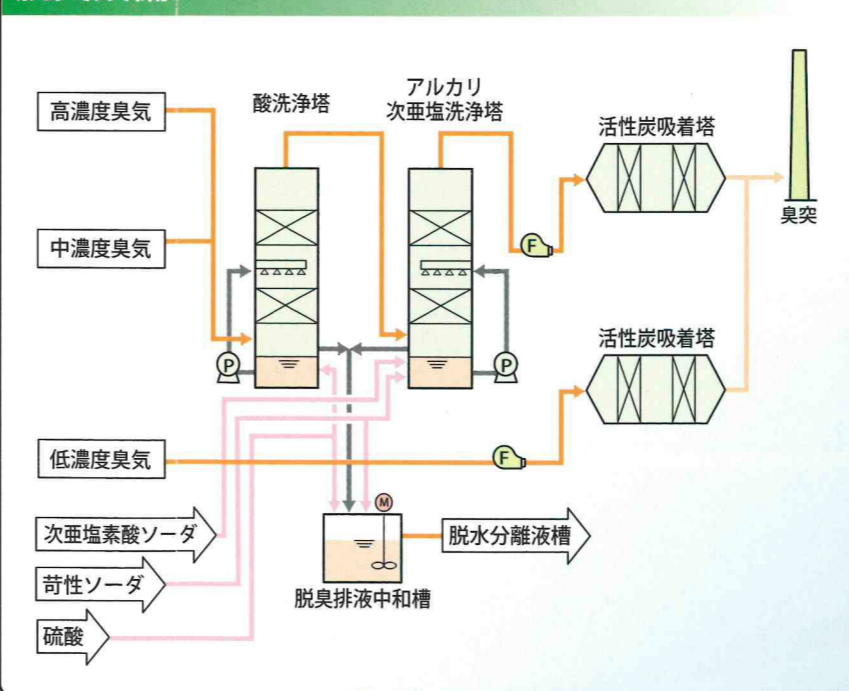
放流水水質

pH	5~9
BOD	600mg/ℓ以下
SS	600mg/ℓ "
T-N	240mg/ℓ "
T-P	32 mg/ℓ "
難分解性COD	25 mg/ℓ "

汚泥処理設備



脱臭設備



汚泥処理設備

汚泥貯留槽の汚泥は、凝集混和槽で薬品を加えた後、フィルタープレス式脱水機で脱水します。脱水後の汚泥は東部知多クリーンセンターで焼却します。また、脱水の際に発生した脱水ろ液は再曝気槽へ送り、し尿等と混合して処理します。

脱臭設備

施設から発生する臭気は、受入槽や細目スクリーン等から発生する臭気の強い高濃度・中濃度臭気と、臭気の少ない処理室内の低濃度臭気に分けて集め、それぞれの脱臭装置へ入ります。高濃度・中濃度臭気は、酸洗浄塔とアルカリ次亜塩素酸洗浄塔で薬品により臭気成分を除去した後、活性炭吸着塔で活性炭により更に臭気を吸着除去し、臭突から大気中へ放出します。低濃度臭気は活性炭吸着塔で臭気を吸着除去した後、臭突から大気中へ放出します。